

学校運営協議会だより

文責 CS事務局

回
覧

学校運営協議会だよりNo.17では、公立高校推薦入試と一般入試の現状と、学力向上に取り組む道内の学校運営協議会も紹介させていただきます。

増える「自己推薦入試」希望者

北海道公立学校推薦入試は、令和5(2023)年度から誰もが自らを推薦して出願できる「自己推薦」が導入されました。これにより推薦者数が増加し、昨年度は自己推薦導入前のとなる令和4(2022)年度の約1.9倍になりました。

公立高校自己推薦入試

この自己推薦入試希望生徒は、学校が作成した調査書の他、願書や自己推薦書を志望校に提出します。その後、面接試験や英語の聞き取りテストなどが実施され、内申点や試験・テストの結果が総合的に判定され合否が決まります。

自己推薦入試で求められるもの

内申書の提出 (※学校作成)

学習の記録 生徒会活動
内申点 部活動



※調査書

自己推薦書の提出 (受験者作成)

志望理由
抱負



面接試験

本校を希望する理由は?



学校によっては、英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技や作文があります。

高校の推薦試験は大きく変わりました。推薦入試の出願者数は、校長推薦だった令和4(2022)年は3,965人だったのに対し、自己推薦制度を導入した令和5(2023)年は6,908人に急増し、令和6(2024)年は7,538人、令和7(2025)年は、8,956人の推薦枠(道内154の公立高校で実施)に対し、7,690人と少子化にもかかわらず増加の一途をたどっています。

公立高校一般入試

令和7年3月4日(昨年度)

| | | |
|---|--------------------------------------------|----|
| 1 | 午前 9時 20分～午前 10時 15分 | 国語 |
| 2 | 午前 10時 35分～午前 11時 30分 | 数学 |
| 3 | 午前 11時 50分～午後 0時 45分 | 社会 |
| 4 | 午後 1時 35分～午後 2時 30分 | 理科 |
| 5 | 午後 2時 50分～午後 3時 45分 英語はリスニングテストも実施されます。 | 英語 |

公立高校一般入試を受験する生徒は、学校が作成した調査書と願書を志望校に提出します。

その後、左の表のように学力考查が実施されます。また、学校によっては、面接試験等も行われます。

公立高校一般入学試験の一部問題を紹介します

| | | | | | | | | |
|--------------|--------------------|----------------------------|-----------|-----------|-------------------------|-----------------|----|---------------------------------|
| (2) | (1) | 問二 (1)、(2)の一部を感じで書きなさい。 | (2) | (1) | 問一 (1)、(2)の読みを書きなさい。 | 一 次の各問に答えなさい | 国語 | 数学 |
| 子猫が足下に這ってきた。 | 国際会議の話題がソクホウで流れれる。 | 姉が私の言葉を遮る。 | 塩分を過剰にとる。 | 塩分を過剰にとる。 | 塩分を過剰にとる。 | | | 1 次の各問に答えなさい |
| | | | | | | | | 問1 (1)～(3)の計算をしなさい。 |
| | | | | | | | | (1) $9 \times (-6)$ |
| | | | | | | | | (2) $-8 + 5 \div \frac{1}{3}$ |
| | | | | | | | | (3) $(-\sqrt{6})^2 + 4$ |
| | | | | | | | | 問2 2次方程式 $(x-2)(x-5)=0$ を解きなさい。 |

【中学生の皆さんへ】上記は、国語と数学の基本問題の一例です。北海道教育委員会では、児童・生徒が家庭学習などで取り組むことができるチャレンジテスト問題を掲載しています。道教委のHPにアクセスして問題に挑戦してみましょう。

道内他町村学校運営協議会学力向上の取組事例を紹介します

道内Y市の学校運営協議会における、幼稚園児・児童・生徒の学力向上を目的に、家庭学習の定着を図るための取組例が紹介されています。Y市CSでは、熟議の中で「学力」が話題となり学習習慣の定着を図る試みが検討されました。その取組として、中学校の定期テストにあわせて、幼稚園児・小学生と中学生が学習に向かう習慣を強化することを目的に【取組1】を、携帯・スマホやゲームの使用方法も見直す機会とするため【取組】2に取り組む。

学校と家庭が連携して下記【取組】を進めることを、CS通信で地域全体に周知しています。

【取組1】 中学校テスト1週間前からの取組

幼稚園児 読み聞かせ 親子読書
小学生 宿題 家庭学習
「学年×10分+10分」
中学生 2時間以上

【取組2】 携帯・スマホ ゲームの約束

幼稚園児 18時以降
小学生 19時以降
中学生 20時以降

利用制限
保護者が翌日まで預かる
勉強に集中する

参考*Y市(幼稚園・小学校・中学校各1校)のCS事務局は、小学校が担っています。

京極町の児童・生徒学力向上の取組(例)

京極町児童・生徒学力向上の取組としては、「京極町で学ぶ子の授業のきまり」があります。これは、京極町としての取組で、小学校版・中学校版が整備されています。学校より児童・生徒に配布されていると思いますので、一度内容を確認いただいくと良いかと思います。(右は中学校版)

「主体的・対話的で深い学び」の実現のためには、こうした授業の基本的ルールを授業像として、授業者と児童・生徒が共有し目指すことはとても有意義だと思います。CSにおいても、学力向上の取組を熟議していければと思います。

| 京極町で学ぶ子の授業のきまり | |
|----------------|----------------------------------------------|
| 授業前 | 1 机をきちんと… 2 教科書・ノート… |
| 授業中 | 3 姿勢を正しく 12 線は定期を… 13 自分の名前は… |
| 授業後 | 14 机の上… 15 席を離れる… |
| 基本の持ち物 | 16 きちんと… 21 筆箱… |